

EA725E-13(ミニマイクロメーター)取扱説明書

(アメリカ)

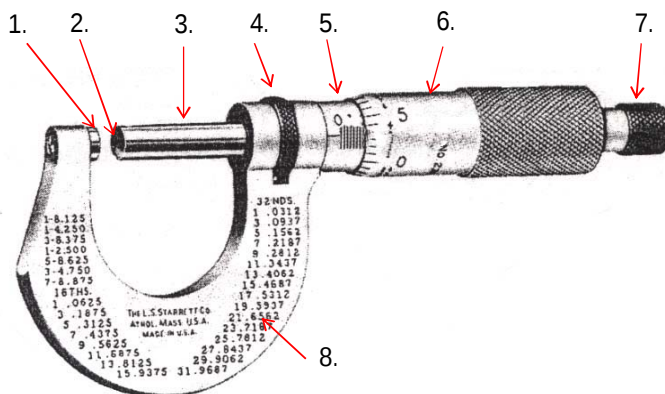
このたびは当商品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。使用に際しましては取扱説明書をよくお読みいただきますようお願いいたします。

特長

- ・サテンクローム仕上げ・・・つや消し、防さび
- ・ハイマイクロ仕上げ・・・アンビルとスピンドルの表面
- ・2 / 1000mm単位まで読取りができます。
- ・スピンドルは一本ですので正確さが長く保てます。
- ・テーパのフレーム・・・狭い所でも計測できます。
- ・強化ネジで安定した測定
- ・簡単なスリーブ調節
- ・丈夫

各部名称

1. アンビル
2. 計測面
3. スピンドル
4. ロックナット
5. スリーブ
6. シンプル
7. ラチェットストップ
8. フレーム



警告

ラチェットストップのないマイクロメーターはシンプルを回転する時にスリーブの0の目盛りを超えないように注意すること。0を超えると以後の読取りが不正確になります。

測定

測定面に測定物をはさみシンプルでスピンドルを動かし最終的にラチェットストップを廻し、空回りするまでスピンドルを押し当てその位置の数値を読んでください。

読取り方

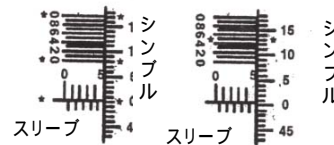
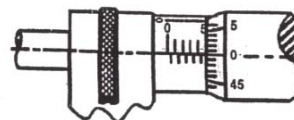
スリーブの副尺が0.002mmの読取りを加える以外は、メートル法の最小目盛り0.01mmのマイクロメーターと同じように目盛りが付いています。スリーブの副尺5目盛りはシンプルの9目盛りと同じ長さです。

(図B)副尺の1目盛り分とシンプルの1目盛り分は0.002mmのずれがあります。

読み取るには、まずスリーブ上の0.01mm単位を読み取り、次に副尺上の目盛りを読み取ります。シンプルの目盛りと一致している所を見ます。2の目盛りの所なら0.002mmを4の目盛りの所なら0.004mmを加えます。

誤差を避けるため同じ姿勢で真正面から読み取って下さい。

図A



図B

図C

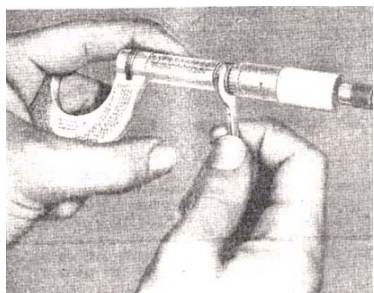
例(図C)

1. スリーブ上は5mm
2. 5mmに0から副尺の最初に一致する所の8の目盛りを足す。
0.008mmになるので、合計は5.008mmになる。

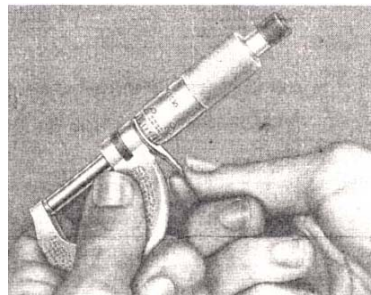
・マイクロメーターの調節の仕方

EA725E-13の調節はほとんど必要ないですが、必要になった場合は次のような操作をして下さい。

1. 長い間使用して、スピンドルのナットが擦り切れてスピンドルのネジの広がり遊びが進行した時、シンブルを元に戻してスパナを調節ネジの穴の中に入れて(図 1)遊びが十分なくなるように締めて下さい。
2. 全ての汚れと砂をアンビルやスピンドルの計測表面から掃除した後、アンビルとスピンドルをくっつけて、スリーブの小さな穴にスパナを入れます(図 2)スリーブをスリーブの線が 0 の目盛りと一致するまでスリーブを回して下さい。



(図 1)



(図 2)

株式会社 エスコ
本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3 - 8 - 14
TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929